

新成人代表者と市長との懇談会

昨年11月、新成人代表者11名が熊谷市長と八戸のまちづくりについて懇談しました。



固社会教育課☎43-9154

【新成人】(写真・敬称略・後列左から)後藤乃愛、上野佑一郎、石川理恵、川村凜、金子拓真、米田唯愛、久保和葵 (前列左から)中村淳美、磯嶋優真、大宮瑠々美、上平匠真 【八戸市】熊谷雄一市長、伊藤博章教育長 【進行】工藤恵之助一般社団法人八戸青年会議所理事長(当時)

20歳の抱負

中村 淳美さん



住宅関連の仕事に就くためにもさまざまな経験を積み、必要な知識を身に着け、多様な視点で物事を捉えられることができるように頑張る。

磯嶋 優真さん



地元で土木に関わる仕事に就き、八戸をより良くしたい。硬式野球で得た経験を生かし、努力を惜しまず、成長しつづける人間になりたい。

大宮 瑠々美さん



何事にもチャレンジ精神を忘れずに頑張る。春から地元企業へ就職するが、自立した生活を目指し、いち早く社会人として活躍したい。

上平 匠真さん



将来は化学工学系の職に就きたい。春から高専専攻科に進学するが、化学に興味を持ってもらうための学習体験授業などを企画してみたい。

後藤 乃愛さん



地域活性化に貢献できる人材になりたい。自分の言動に責任を持ち、向上心やチャレンジ精神を忘れず日々努力し、社会の役に立ちたい。

上野 佑一郎さん



スポーツを通じた地域振興や健康増進の取り組みに携わる仕事に就きたい。そのためにトレーニング指導者などの資格を取得したい。

石川 理恵さん



20歳の抱負は、他を否定せず、受容する心を持つこと。今後は、人間性を磨き、看護師の資格を取得し、地元で信頼される看護師として働きたい。

川村 凜さん



幼稚園教諭免許状と保育士資格を取得し、子どもの特性や関心事、発達状況を理解した支援ができる保育教諭になりたい。

金子 拓真さん



利用者の思いをくみ取った支援を心がけ、誰からも信頼されるような介護福祉士になれるよう、国家試験合格に向け勉強に励みたい。

米田 唯愛さん



生物学を学ぶため大学に編入学し、自分のやりたいものを見つける。また、地域貢献活動に参加し、八戸のために貢献していきたい。

久保 和葵さん



目標は、原燃関係の仕事に就き、未来の青森県全体を支えることができる一員となること。そのためにも健康に気を付けながら頑張りたい。

出席者の皆さんに
20歳の抱負、将来の夢、
目標などを聞きました！



まちづくりに対する意見

環境問題



超臨界水を用いたリサイクル

CO₂の排出量が少なく、分別が不要なリサイクル技術として研究開発中の超臨界水を用いたリサイクル方法を検討してみてもどうか。(上平)

環境にやさしい通勤・通学の提案

二酸化炭素削減のため、市職員が取り組んでいる環境にやさしい通勤(はちのへスマートムーブ通勤)を企業や学校、市民へも広め、実践してもらってはどうか。(大宮)



市長より

カーボンニュートラルは世界的に取り組む重要な問題。温室効果ガス排出量ゼロを目指し、市内の企業と八戸インテリジェントプラザが「ゼロエミッション連絡協議会」を設立し、市も参加している。今後も若い皆さんの新しい発想で提案してほしい。

観光・レジャー



クーポンで集客

市施設で実施するイベントの参加者に市内飲食店で使えるクーポンを付与すれば、集客が望め、イベント後の人の流れも期待でき、観光客にも八戸をPRできるのでは。(米田)

市長より

市では、マチニワで行う飲食・物販を伴うイベントの開催を支援するため、使用料を無料にする事業を実施しているが、クーポン券で集客するというアイデアも具体的な提案で面白い。

海を活かしたレジャースポットの創出

新たな観光地と市民の憩いの場として、市内外から多くの人が集いコミュニティの場にもなるキャンプ施設を海沿いにつくってはどうか。(中村)



市長より

八戸の美しい自然に着目した夢膨らむ提案。今後も市民や観光客がもっと気軽に海の方へ来られるような仕掛けを考えていきたい。

中心街のまちづくり



道路のバリアフリー化

中心街の歩道にデコボコや段差が多いため、誰もが歩きやすく、誰もが訪れたいような中心街となるよう、道路のバリアフリー化を図ってみてはどうか。(金子)

市長より

中心街を訪れる人にとって歩きやすく、魅力的なまちとなるようチーノ付近の再開発などと合わせて道路を管理する県と一緒に考えていきたい。

中心街に多くの人が集まるスペースを

年代を問わず多くの人が集まる空間として、中心街にカフェを併設した学生の勉強スペースや子どもと高齢者との協働が図れるスペースを作ってはどうか。(後藤)



市長より

さまざまな年齢層が集えるスペースをつくることで、世代を超えて集まり、活動の場も広がる提案だと思うので、今後の中心街のまちづくりに生かしていきたい。

子育て環境



プレーパークの整備

子どもたちがのびのびと自然に遊ぶことができる環境として、さまざまなジャンルの遊びを体験できるプレーパークを整備してはどうか。(川村)

地域住民が助け合う場を増やす

地域住民が助け合い、育児がしやすく、子どもたちが伸び伸びと生活できる場をもっと増やしていければ、八戸に住みたい、住み続けたいと思う人も増えると思う。(磯嶋)



市長より

若い人から魅力あるまちづくりの一つとして、子育て環境を充実させてほしいという声をよく聞く。その中で子どもの遊び場ということでは、現在、こどもの国に新しい遊具施設をつくる準備をしている。提案のあったプレーパークについては、子どもの遊び場の一つとして参考にしたい。

そのほかの意見



企業の誘致

さまざまな分野の企業を誘致し、就労場所を増やしていくことで、学生の就職の選択肢の幅が広がるほか、若手技術者の県外への流出を抑えることができるのでは。(久保)

市長より

現在、誘致企業の受け入れ場所として、八戸北インター第2工業団地を整備中であり、ここに関心を寄せている企業もある。今後もITや環境に関する産業などさまざまな分野の企業を誘致するため、八戸をどんどんPRしていきたい。

高齢者のスマートフォンの利用率を増やす

高齢者がスマートフォンなどを使えるようになれば、離れて暮らす家族や地域との交流が生まれ、デジタルの便利さを実感することができるのではないか。(上野)



市長より

高齢者へのデジタル技術の活用は大事。一方で、高齢者の皆さんがデジタル化に不安に思われていることも事実である。まずはデジタル技術の利便性に共感してもらうことが大事だと思う。

学習支援の場を作る

経済的な事情で塾などに通えない子どもに、経験豊かな高齢者などが無料または低価格の授業料で学習支援できる場を作ってみてはどうか。(石川)



市長より

子どもたちに対する思いやりの心がうれしい。今までの経験を生かし、子どもたちと関わりたいと考えておられる高齢者の社会参加にもつながるいい提案だと思う。

新成人へエール

市長より

変化に対応したまちづくりには、皆さんのような柔軟な発想が大切。これからもぜひ八戸のために提言してほしい。一日一生の思いを大事に自分の夢や志の実現に向けこれからも頑張ってください。



教育長より

自分たちの住むこの地域を誇りに思っていることに大変頼もしく感じた。夢の実現は簡単なものではないが、何事にもひと手間を惜しまず、いい仕事をしていてもらいたい。



理事長より

八戸への熱い思いをいつまでも持ち続けてほしい。これから先、幾多の困難が待ち受けていると思うが、諦めずにやり抜けば、必ず夢に近づいていく。20代を大いに楽しんでほしい。

